



特240

351 解説パンフレット(第一輯)

乙

北支の現状を語る

華北事情案内所編

始



特 240
351



發行所寄贈本

はしがき

此のパンフレットは北支の最近の實
狀を極めて通俗的に紹介する目的を以
つて編輯した。即ち事變後の支那がど
うなつて居るかについて一般の人達に
或ひはこれから支那に渡りたいと考へ
て居る人達に其のアウトラインを誤り
なく傳へたいと云ふのが本パンフレッ
トの目的である。従つて其の内容につ
いてはあれも書きたいこれも書きたい
と思ひ乍ら殆んど省畧の止むなきに至
つた。殊に全北支とは云へ蒙疆の特

種事情は支那本土のそれと著しく異り
従つて之に關する詳細は別に取纏めて
紹介するを妥當と考へるが故に差當り
一般情勢に關係ある部分を掲載するに
止めた。

北支事情に對する朝野の注目が高ま
るにつれ其の要請せられる關係資料は
夫々多岐多様に亘るであらうがそれは
又後の機會に於て専門的分野につき紹
介して行きたいと思つて居る。

昭和十三年九月

華北事情案内所
(在北京)



目次

一、はしがき.....1頁

一、北支とはどこを指すか.....2頁

一、北支五省.....3頁

一、北支は日本と満洲にとつてどんな価値があるか.....5頁

一、北支の現状はどうなつて居るか.....5頁

一、治安状態と民心の動向.....6頁

一、臨時政府の成立.....9頁

一、臨時政府の治績.....10頁

一、蒙疆政府の成立.....11頁

一、新民會の成立.....12頁

一、交通通信機關の復舊狀況.....14頁

一、教育機構の改正.....15頁

一、産業開發の諸問題.....16頁

 イ、産業開發の根本方針決定.....16頁

 ロ、産業開發の着手狀況.....18頁

 (九)金融機關と通貨の統一.....21頁

 (十)北支の貿易.....22頁

一、北支に於ける日本人の進出狀況.....27頁

一、支那を掘り下げて知れ.....27頁

（Faint text and stamps on the right page, including a large rectangular stamp at the top and a circular stamp at the bottom right.)

北支とはどこを指すか

北支は今次の事變の發端地であり又戰局の發展した今日では政治經濟産業等の立場から見ても最も重要な問題を提供して居る所である、そこで毎日の新聞やお互ひの間でも「北支の現状」とか「北支産業開發」等が眞剣に論議されて居るがさて一體北支とは支那のどこを指すのかと聞くとこれは仲々はつきりと答へ得る人が少い従つて今北支はどうなつて居るかを知らる前に先づ北支とはどういふ處であるかの認識を新しくしなければならぬ。

我々日本人は従來北支と云ふと、山東、山西、河北、綏遠、察哈爾を指し所謂北支五省と云つて居るが本來地勢的に見ると綏遠と察哈爾は蒙古に屬するものであり、従つて北支とは秦嶺、大巴山、伏牛山惟山等の諸山脈と舊黄河以北の地方即ち、山東、河北、河南、山西、陝西、甘肅の六省を意味するのである。

此處で問題となるのは然らばいま日本が北支の抗日勢力を排して、政治經濟工作の重點を置く、北支とは一體どこを指したらよいかと云ふ點であらう。

現在の政治的狀勢から見ると綏遠察哈爾と山西の北の一部を含む地方には、察南、晉北、蒙古聯盟の各自治政府が出来又臨時政府の管轄下には既に、河北山東山西の三省の外河南省の大部分も入つて居る。従つて事變によつて變化した今日の狀態からみると北支は單に綏遠察哈爾、河北、山東、山西の五省のみでなく、又河北、山東、山西、河南の四省のみを指さず寧ろ此の兩者を包含した區域全部と云つた方が當を得るものと考へる。

然し乍ら將來は政治工作の具體化、軍事的効果の程度、國防上産業上の見地からみて明確な決定が行はれる事とならう。

北支五省

昭和十年冀察政權が成立した當時獨立の氣運が濃厚であつたのが前に擧げた北支五省であり、又現在の實狀からみても一番中心的な役割を演じて居る此の地方について概畧述べてみよう。

北支五省を含む地域は、北緯三十五度から四十七度、東經百一度から百二十二度に亘る廣さ百萬八千九百五十二平方呎の面積で人口は約七千七百萬となつて居る。即ち面積の上から云ふと我が國の約三倍に當つて居り、その中河北、山東、山西の三省併せて四十六萬平方呎、綏遠、察哈爾の二省が五十六萬平方呎なのに、人口の點からみると綏遠察哈爾二省が僅かに三百萬で残りの全部が他の三省に住んで居るわけで、河北山東の二省は全面積と人口との比を見れば我が國よりも人口密度が反つて多くなつて居る。是等の大部分は漢族、蒙古族で漢民族は人口の約九割を占めて居る。此の外極少數の滿州族が昔清朝の建設と共に支那本土に入つて、現在では河北省を

中心に全く漢族と同化して居る。

之を地勢的にみると大體四つに分ける事が出来る。第一が山東省の東半部を占める山東山地第二が山西省のある山西臺地、第三か此の山東山地と山西臺地の丁度間にある中央平原で河北省山東省に誇り俗に中原と云はれる所であり、第四は察哈爾、綏遠兩省のある蒙古高原で海拔千米位の高原地帯となつて居る。従つて一口に北支と云つても各地方によつて氣候には非常な差があり大體に於て、本土の方は、冬は零下十度夏は二十六度以上になつて寒暑の差が劇しく、所謂大陸性の氣候を示して居り、雨は夏の二三ヶ月の間に盛んに降るが一年を通じると非常に少い。蒙古高原地方になると大陸的な氣候が特に甚しく、嚴冬季は實に零下四十度以下に下ることがあり、之に反して盛夏の温度は三十八度内外を示す有様で、九月から四月迄の間が冬で五月から八月迄の僅かな間に春夏秋の三季が経つてしまふ、雨の量は極めて少な

く乾燥した沙漠が多い。

よく昔から「支那は世界の寶庫である」とか「支那の天然資源は無盡藏である」とか云ふ事を聞くが一帶此の地方にはどんな資源があるか、資源中の白眉をなすものは鑛産資源で石炭、鐵、岩鹽等を初めその種類と埋藏量が極めて多く、殊に石炭の埋藏量は實に千三百億噸に及び滿州國の約二十八倍、山西一省だけで既に全支の五三%を占め又鐵は一億九千萬噸で之亦全支の四六%に上つて居る。

其の他礬土、頁土、重晶、石灰岩、耐火粘土、アンチモニー等も無盡藏と云はれて居る。

農産物の中で主要なものを擧げると、小麦、大麦、高粱、棉花、玉蜀黍、煙草、大豆、甘藷、落花生、粟、黍、

北支は日本と滿洲にとつてどんな價値があるか

以上大體北支とはどんな所であるか明瞭になつたと思ふ、次に北支と我が國並滿洲國との關係言葉を換へて云へば日滿兩國に對する北支の價値と云ふ事について一言する。

胡麻、菜種、等でその中、小麦、粟、高粱等の食用作物と棉花、落花生等の特用作物が特に主要な位置を占めて居る。

又畜産資源中主なものは、豚、綿羊、山羊、驢、馬、黄牛、水牛、等で、豚が最も多く約一千萬頭を超え主に河北、山東方面で飼養して居る、綿羊は内蒙方面が主で其の數六百五十萬頭之に次ぐ牛、驢、山羊等は各々五百萬頭位飼育されて居る。

最後に水産資源では、山東鹽や、長蘆鹽の名を以つて有名な鹽の産額が非常に多く、事變前には各々年額約三十八萬噸に上つて居た。

漁業はまだ農家の副業の域を脱せず未だ見るべきものはない。

第一に北支はその地勢上の位置からみて河北省の北部と内蒙の東邊に於て滿洲國と界を接し、又内蒙は北と西に於て内蒙、及新疆に續いて居るのである。そして既に内蒙は一九一二年に露國と協定を結んで

その軍隊が外蒙に駐屯する権利を興へて居り其の後一九二四年にソ聯政權の手によつて完全に赤化せられてしまつた、今日外蒙と新疆が完全にソ聯の支配下にある事は既に周知の事實である。

こう云ふ事情の下にあつて北支殊に内蒙が日滿兩國の存立上どんなに重要な價值を持つて居るかは今更贅言するまでもなからう。

第二に滿洲國三千萬の國民中その大部分は北支那人で河北山東の出身者が特に多く此の意味で滿洲國と北支とは人種言語風俗經濟關係が悉く密接不可分の關係を持つて居るのである。

又我が國では北支に於て多くの共通的權益や我が國獨持の所謂特種權益を持つて居りその特種權益だけを數へて見ても天津租界設定、權日本軍北支駐兵權北京公使館區域設定權並北京開市に關する權利、鑛山採掘權、山東に於ける各種權益、各種借款並投資に關する權利就中膠濟鐵道に關する鐵道借款、山東山西河北に亘る炭鐵鑛山に投資の形で設定された一千二百五十萬圓に達する鑛山借款や其の他直接投下

資本に依る尨大な權利等の外今回支那側の背信の爲遂に日支事變發生の動機となつた塘沽停戰協定、梅津何應欣協定察哈爾治安維持協定を加へて頗る多い從つて此の觀點から見ても北支の動向が如何に我が國にとつて大きな意義があるかは明かである。

更に第三に北支の民衆はその日常生活の上から云つても又種々の生産的方面からも安價良質な日本の製産品を要求して居ると同時に前にも述べた北支の各種の資源は我が國防資源として亦生産工業の原料として缺くべからざる必要品なのであるから兩者はその望む所と興へる所が相補つて全く共存共榮の關係に立つて居るのである。事變前迄の我が對北支貿易上に現れた數字が此の間の事情をよく説明して居る。

北支の現状はどうなつて居るか

北支が今どうなつて居るかは我が國民の何人も一番知りたい所であり又之を知る事こそ眞に今次事變の意義を理解する所以であると信するのである。

昨年七月我が皇軍が暴虐な蔣介石政權膺懲の爲敢然として正義の師を起すや忽ちの裡に北に南に全支那の山野を制壓し今や敵最後の據點たる漢口へ漢口へとひた押しに遠進して居る。老獪な蔣政權も愈々漢口の陥落と共に崩壞の運命に到達した。

征戰僅か一ケ年餘にして既にかくの如き成果を收めた事は凡そ東西古今の戰史にも其の例を見ざる所と謂ふべきである。

そもそも今次事變は國民政府が東亞の平和とその繁榮を念願する我が帝國のさしのべた温い提携の手を拒んだのみか反つてソ聯や其の他の外國に依存して抗日政策に狂奔した結果である事は固より明かであるが此の戰の中にあつても我が國は屢々國民政府に反省の機會を興へたに不拘一向之に應ずる色もな

かつたので遂に我が國は本年一月十六日「爾後國民政府を相手とせず帝國と眞に提携するに足る新興支那政府の成立發展を期待し之と國交を整調して更正支那の建設に協力せんとす」と云ふ聲明書を發しその確固たる方針を明かにした。

北支に於ては既に昨年未だ戰火の餘燼消えぬ間に建設工作は着々として進展して居つたのであるが此の聲明によつて明確な目標が興へられたため一段とその努力に拍車をかけ眞に覺醒した北支建設の基礎が完成し今や第二次の飛躍的發展が行はれんとして居る今之を各方面の事實について説明して見よう

(一) 治安状態と民心の動向

昨年八月宋哲元軍の退却と同時に既に北京天津に治安維持會が成立され次いで北寧鐵道本支沿線を含む地方の治安が確立した其の後軍の推進と共に京漢津浦、膠濟鐵道を初め皇軍の占領地域には交戰直後治安維持會が成立し今では縣公署に改組されたも

の實に三十餘に達し何れも臨時政府の傘下にあつて活潑な自治的活動を行つて居る。

又北支民衆は暴逆支那軍の撤退に際しその家を焼かれその糧食は奪はれて、全く窮死の底に陥つたのであるが軍は時を移さず、宣撫班を活動せしめての救済に當り臨時政府、新民會その他我が公私の團體が之に協力して驚くべき成果を収めて居る。その一例を掲げると現在北支に於て活動して居る軍宣撫班は約百二十班其の人員千三百人に及び昨年九月活動開始以來無料診療の總人員實に百萬に達し其の他臨時政府、新民會、同仁會大朝大每兩新聞社施療班、外務省防疫班滿鐵診療所等の協力を加へると其の地域は北京、天津、保定、正定、石家莊、大原、滄州、濟南、青島、泰安、徐州彰德を中心として殆んど北支全部に亘りその人員も亦莫大な數に上つて居る、又農民更正の爲には約五十萬圓に上る農耕種子を配給し、農耕資金の貸付を行ひ食糧を給與する等徹底的な救済を行つて居る、その一例を示すと、北京では(イ)農耕種子の配給(ロ)粟約千五百噸を五月以降各地に

配給中(ハ)四月下旬臨時政府から百萬元を支出して農業合作社を通じ農耕資金の低利無擔保貸付中、濟南では(イ)棉、實、粟、大麥、高粱、黑豆等の種子五月末迄の配給額一、三三四、一二五疋、戸數二九二、九八二戸、下種可能面積三三九、七〇三支那那(ロ)三、四月分食糧給與額一、五七七円救護延人員一一、一〇四名(六月十四日外務省文化事業部發表参照)に上つて居る、此の有効適切な方法が全く効を奏し、北支の人心は今や全く從來の迷夢からさめ支那の建設に心から共鳴するに至つた。

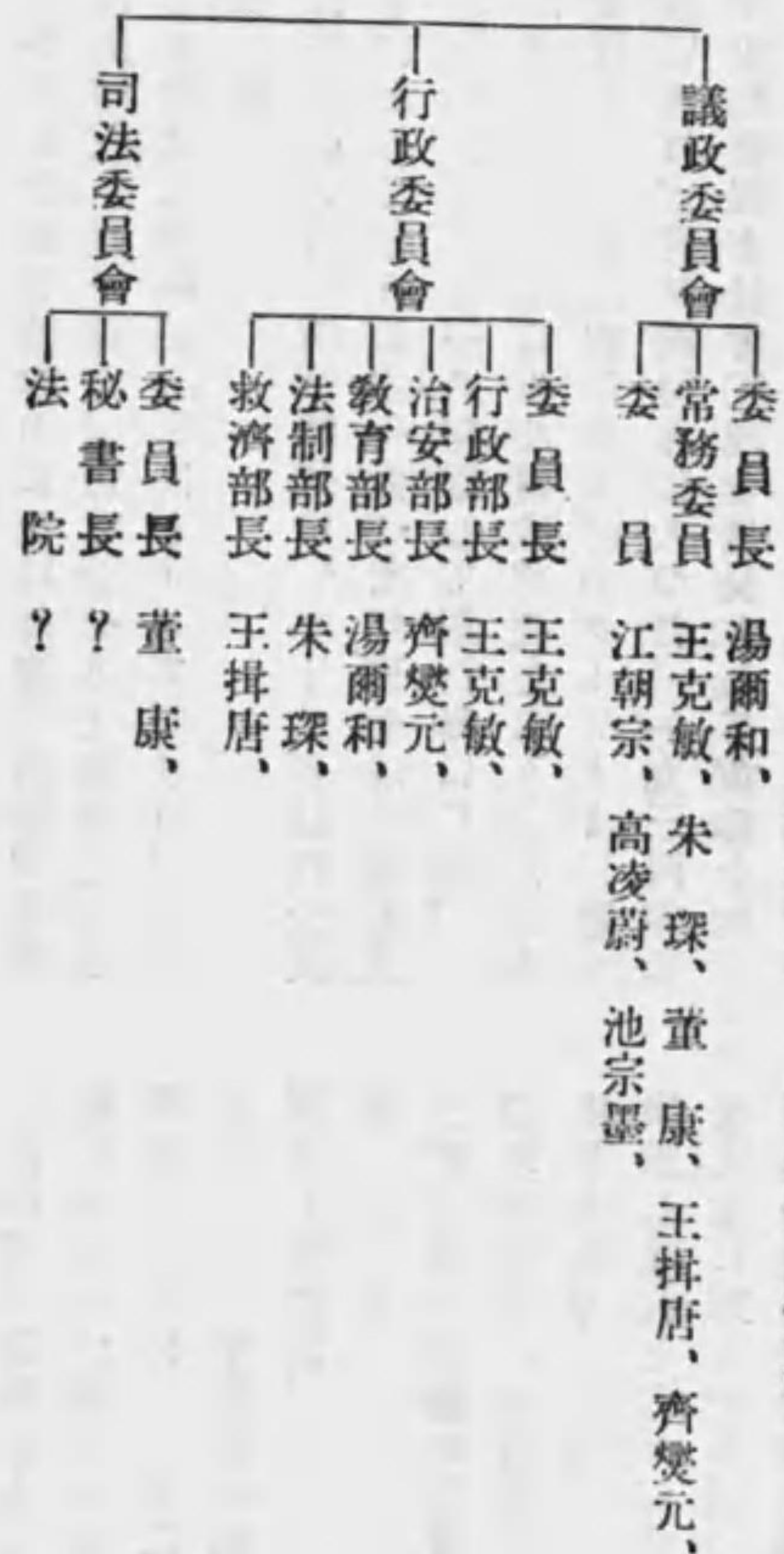
去る六月十三日から北京、天津、石家莊、太原、青島、濟南等を初め各地の剿共滅黨週間が大成功を以て終り、更に事變一週年紀念に際し、北京外交大樓で行つた王克敏の新時代の意識と、新政府の方針宣明の全國放送が壓倒的の感激を持つて受け入れられた事實は如何に、北支民衆が國民政府に對して憤慨し又我が皇軍の正義及び日滿支協力の必要を痛感して居るかを如實に物語るものである。

(二)臨時政府の成立

前に述べた通り、北支には冀察政權が終りを告げると同時に、早くも北京に江朝宗を會長とした治安維持會が組織され、直ちに政務が開始された。又天津では八月一日高凌蔚を委員長とした治安維持會が成立したが、其の後十一月二十七日には、河南省自治政府が成立し、十二月十日には山西省にも治安維持會が出来、その他京漢沿線にも續々と維持會が成立されたが此等の地方自治體の間には急速に大

同團結の機運が熟して遂に、王克敏の北京入りと同時に十二月十四日中華民國臨時政府が成立し、次いで本年一月冀東自治政府も愈その傘下に包含されるに至つた。

新政府の組織は議政委員會、行政委員會、司法委員會の三部に分れ、明かに三權分立主義をとつて居るその組織と人員は左の通りであるが主席はまだ決定されて居ない。



右の外近く行政委員會内に更に外交、内務、交通の三部か増設される豫定で之と合せると九部となるのである今次に首腦部の畧歴を示して見よう。

王克敏

浙江省杭縣の人、清朝時代に留學生監督駐日公使館參事官として駐日し、一九一七年王子珍内閣に入つて財政總長、一九一八年辭して銀行界に活躍、一九二三年張紹曾内閣に再び財政部長となり數代の内閣に留任し、一九二四年馮玉祥のクーデターに遭つて天津に逃れ、再び銀行界に入つた。一九三四年には北平政務整理委員會代理委員長として黃郛を助け一九三五年冀察政務委員會不在委員に名を連ね、昨年全經濟委員會主席に推されたが拒絶して故郷に歸つて居た。

湯爾和

王克敏と全縣の人、我が金澤醫專に學び、我が國醫學博士の稱號を持つて居る、十二年の我關東震災の時には支那赤十字を代表して渡日した。

董康

となり、同二四年浙江の蘆永祥と衝突、第二奉直戰を誘發蘆を驅逐して上海を占領、松滬軍使を兼ねたが後日本に亡命し、一九二五年歸國漢口の吳佩孚の下にあつて直隸派の復活に奔走したが冀東政權樹立と共に常務委員となつた。

高凌蔚

天津縣の人、靳雲鵬内閣の財政總長、梁士詒内閣の財務總長、周自齊内閣の交通總長、唐紹儀内閣の財務總長、農商務總長、王大燮内閣の内務總長張紹曾内閣の内務總長、國務總理代理等を歴任し、曹錕大總統就任後國務總理に擧げられたが、一九二四年辭任、更に顏惠慶内閣では農商務總長となり、辭任後閑地にいたが冀東政務委員成立に際し、委員となり事變後逸早く天津治安維持會を組織し自ら會長となつた。

江朝宗

安徽旌德縣人、張勳の復辟運動に參畫し京師憲兵總司令に任じ復辟失敗後辭職同年陸軍上將となり爾來元老として北京に隱棲し社會教化事業に従事今

江蘇省武進縣の人、日本へ留學後北京大理院長を経て靳雲鵬内閣の司法總長、顏惠慶内閣の財政總長代理等に就任、一九二六年政界隱退後東吳大學教授上海法科大學院長を歴任し、後野に下つて辯護士を開業して居た。

王揖唐

安徽省合肥縣の出身、我が法政大學に學び第一革命後袁世凱の秘書參謀顧問に歴任後北京に國民大學中華大學等を創設、一九一七年段祺瑞の領袖として衆議院議長となり、段失却後我國に亡命した、其の後天津に歸り安徽省長に補せられ、一九二五年辭職冀察政務委員會成立後その委員となつた。

朱琛

河北省永清縣の生れ、我が帝大法學部の出身、一九二八年司法總長翌年國務總理となり、一九二〇年安福派没落と同時に逮捕命令を脱れて天津に入り野に下つた。

齊燮元

河北省寧河縣の人、一九二二年寧武將軍陸軍上將

次事變が勃發するや北京治安維持會會長となつた

(三)臨時政府の治績

此の政府は國民政府の容共抗日政策を徹底的に粉碎し眞に日滿提携を實現する目的を以つて成立したもので従つて國民政府の様な一黨專制主義を排撃し民衆國家としての組織を具へて居る點に特色を有して居る。

現在迄に行つた施政中の主なものを擧げて見ると政府成立するや直ちに天津秦皇島の海關を圓滿に接收すると同時に、國民政府の定めた排日的關稅率に大修正を行つて先づ日支貿易關係を調整し又三月には中國聯合準備銀行を設立して紙幣發行權を一元化し、新國幣制度を確立して財政の強化を圖り、新教育方針として従來の抗日教育を根絶する事となり又日滿支經濟ブロックを結成する爲日華經濟協議會を設立して産業經濟開發の根本策を決定する等その眞摯な態度は悉く賞賛に値ひする。その他農民救済の爲月額百萬圓に上る土木治水工事を興し、皇軍と協力して治安工作に邁進する等を擧げれば成立後僅

が半歳に過ぎぬ此の政府の功績は實に大なるものと云ひ得るだらう。今や臨時政府の財政基礎も立派に確立したので此の七月からは先づ半年の豫算制度も採用されその前途は蓋し洋々たるものがある。

(四)蒙疆政府の成立

昨年八月二十七日皇軍が張家口に入城後間もなく九月四日張家口に治安維持會を中心として、察哈爾南部の十縣からなる察南自治政府が成立し、杜運宇子品卿等が政府組織委員に舉げられ(一)北支人の北支主義(二)軍閥政治に代る文治主義(三)排共排國民黨(四)防共聯日のスローガンを高く掲げたが次いで十月十五日には同じ目的を以つて山西北部十三縣からなる晉北自治政府が大同に、更に十月二十七日には綏遠に第一回蒙古大會が開催されて、烏蘭察布盟、錫林郭勒盟、伊克昭盟、並厚和包頭を含む蒙漢民三百萬を擁する蒙古聯盟自治政府が成立した。十一月二十二日になると張家口には此三自治政府から成る蒙疆聯合委員會が生れ蒙疆統治の實權を握る事となつた。

聯合委員會の組織は大會議法によつて定められて居るが之によると主席一名、副主席一名、日本人最高顧問一名、委員、參議、各専門顧問からなり總て合議制によつてその方針を決定して行く事になつて居る。又各政權からは政府代表の委員を派遣し、總て聯合委員會の決議は各政權がその執行に援助する義務があるのである。

主席には初め雲王を擁したが、その死後徳王が之に推薦せられて今日に至り又日本人の最高顧問は元滿洲國間島省々長醫學博士金井章次氏である。

蒙疆政權の行財政産業金融交通等の各部門に亘る創業的事業は一年未滿で既に確固として基礎工作を終り所謂羈業完成の第二段階に入つて居る。既に聯合委員會で爲し遂げた事業を見ても、(一)委員會成立と同時に曩に成立された察南銀行を蒙疆銀行と改め、蒙疆地區内に於ける紙幣發行權を獨占し、幣制と金融の指導權を把握した事(二)蒙疆地方の郵便電信電話の完成統一を圖るため蒙疆電政株式會社を設立し、(三)蒙疆地區内の電力事業を統制する爲蒙

疆電業會社を設立し(四)大同の炭田開發、龍煙の鐵鑛開發、羊毛の増産計畫、運輸計畫、國防産業各道路の計畫が、決定し或ひは立案中である(五)蒙古人回教徒問題に關する色々な工作、防共問題についても之を指導解決する等赫々たる治績を擧げて居る。

(五)新民會の成立

永い間國民政府の下でその誤つた政治に苦しんで居た北支民衆の間には今回事變勃發を動機として、剿共滅黨新民主主義的道義國家の建設を標榜した所謂新民主主義運動が各地に起り昨年十二月臨時政府の成立と時を同じくして新民會が結成された。此の運動は全く北支民衆の間に極めて自然的に起された運動なのであるがその目標とする所が新政府の政治理想と全くその軌を同じくして居る爲その發展は新政府の基礎を益々固い地盤の上に置く事となり従つて之を指導統制する新民會は宛も新政府と唇齒輔車の關係に立つ事となり現在では北支政情を語る上に缺くべからざる存在となつて居るのである。

本會の會長は欠員副會長は元滿洲國實業部大臣、

同外交部大臣滿洲帝國協和會理事長の經歷ある張燕卿氏、又中央指導部長に繆斌氏が推任され、其の他多くの俊英を擁し現在では北京にある中央指導部の外に北京首都指導部、河北省指導部(天津都市指導部冀東道指導部)山東省指導部(青島都市指導部濟南都市指導部)山西省指導部の外に冀南道指導部、河南省指導部、並所屬地區辦事處が既に設立せられ、京漢津浦兩沿線を中心として既に二十五縣に亘る新民地區獲得に成功して居る。

新民會が成立して半歳餘その既に行つて來た事業は各方面に亘つて枚舉の暇がないが特に注目すべき内容を示せば(一)北支人口の八割を占める農民の救済とその經濟更正を圖る爲厚生醫藥塾の設置、醫療班の派遣、農産種子の配給、模範農村の設置、農民道場の開設による農業經營方法の改善指導、合作社の組織輔導、(二)青年會の思想再建と自衛能力を増加する爲青年訓練所の開設(三)防共滅黨新民主主義政治理想の宣傳啓蒙(四)地方自治組織の改善等内は新政府の施政に協力し、外は我が國策に呼應しその實

績は寔に顯著なるものがある。

(六)交通通信機關の「復舊」情況

治安の確保と産業開發の爲最も必要な交通通信機關の復舊状態は極めて良好に進捗して居る。

北支の鐵道は今やその全線が皇軍の制壓下に歸し左記諸線は營業線又は假營業線として、一般に開放されて居る。(七月一日現在)

本營業線 京山鐵道本支全線 計四六八・八一〇

假營業線 京漢鐵道 六三三・八〇〇

本線(北京前門新郷間) 二九〇・〇〇〇

遊新臨城間を除く各支線 三五六・一〇〇

津浦鐵道本線(天津濟南間) 八七四・六一〇

京綏鐵道本支全線 四一・二〇〇

膠濟鐵道本線(青島濟南間) 五〇〇・〇〇〇

鐵山、支線を除く各支線 三〇二・〇〇〇

正太鐵道本支全線 一三二・六〇〇

同蒲鐵道(大同朝縣間) 二〇〇・〇〇〇

右の中津浦京山兩線の最近の乗車人員と貨物の量は噸に激増し、京山線の如きは乗車人員が事變前に海運も現在では全く元に復し天津、青島、芝罘の

比べて約五割の増加と云ふ有様である、参考の爲に最近發表された兩線輸送量の増加を示すと左の通である

線名 月割 乗車人員 乗車運賃

津浦線 六月 一九九・四六一 一五四・三二二

京山線 五月 三三〇・二九六 四九七・一一九

貨物運賃 總收 圓入

津浦線 六月 一四六・一五三 三二〇・〇二六

京山線 五月 三五六・五二八 三三四・四一〇

山東地方の治安確保に伴ひ膠濟線の乗客激増は到底從來の青島濟南間一日、一往復を以つてしては之に應じ得られぬ實狀に鑑み七月五日から青島濰縣間濟南坊子間の二列車を増發する事となり同時に青島濟南間の直通列車は一時間スピードアップを實施する事となつた。

芝罘

芝罘大連間(阿波國共同汽船)此の外罘芝に寄航するもの大連仁川間(阿波國共同汽船)大連青島間(同上)

航空輸送は惠通航空公司是、大連張北線(大連天津間、北京張家口、張北間)北京承德線(北京承德間)天津錦州線(天津山海關天津山海關錦州間)の三線を有して居るが、目下一般に開放されて就航して居るものは、天津大連間往復、天津錦州間往復の二線に限られて居る、その運行日、發著時賃銀は左の通りである、が之も餘程前から申込まぬと利用困難の有様である。

三港に於て内地大連朝鮮及中南支と連絡し、何れも我が汽船會社の手で運船されて居る。現在就航して居る定期船は左の通りである。

天津

天津安東間(大連汽船)、天津(塘沽)神戶間(大阪商船近海郵船)天津仁川間(阿波國共同汽船)天津廣東間(日清汽船)

青島

青島神戶間(日本、大阪、原田各汽船)青島大連間(阿波國共同汽船)青島仁川間(朝鮮郵船)此の外青島に寄航するもの上海仁川間(朝鮮郵船)天津廣東間(日清汽船)

天津錦州間(每週月水金)

天津大連間(毎日運行)

天津錦州間(每週月水金)

天津錦州間(每週月水金)

天津錦州間(每週月水金)

天津錦州間(每週月水金)

天津錦州間(每週月水金)

天津錦州間(每週月水金)

天津錦州間(每週月水金)

天津錦州間(每週月水金)

天津錦州間(每週月水金)

天津錦州間(每週月水金)

天津錦州間(每週月水金)

天津錦州間(每週月水金)

區間	運行日	發着時間	賃銀
天津大連間(毎日運行)	大連發 一五時五〇分	天津着 一七時二〇分	五〇元
天津大連間(毎日運行)	天津發 七時三五分	大連着 九時〇五分	五〇元
天津錦州間(每週月水金)	天津發 八時五〇分	錦州着 一一時三〇分	三六元
天津錦州間(每週月水金)	錦州發 一一時五〇分	天津着 一四時三〇分	三六元

道路は治安確立と産業開發には特に重要なものだけに臨時政府は建設總署を設置し經費三百萬圓を投じて主要幹線の修築或は築造に着手したが現在進行中のものは左の通りで此の外補助金を與へて各縣に修築せしめて居るものも天津太沽間五十五軒を初め着々竣工しやがて是等が完成した曉は北支建設上重要な割役を演ずるものと見られて居る。

進行中の路線

- 一、天津塘沽間(津沽公路)北支物資の輸送幹線延長四十五軒幅員十米
- 一、天津北京道路(京津公路)延長百二十軒幅員九米本年中に完成の見込である、
- 一、高碑店、涇源間道路延長百三十軒で目下高碑店易縣間三十五軒を工事中、
- 一、石家莊太原間、目下調査中、
- 一、北京環狀道路延長五十軒工事殆んど完成し目下舗装中である。

現在では通信機關も殆んど復舊し何等平常に異らなくなつて來たので電報郵便の取扱ひも極めて敏速

に行はれて居る。

殊に邦人の内地滿洲等との間の電報については邦字電報の受付が開始された結果我々にとつて著しく便利が増し、殊に従來は東京北京間は滿州經由で行はれて居たが事務複雑と共に、直通連絡が必要となつて七月十一日からその取扱が開始されて居る。

天津の外國租界内にある電話局は事變後も依然國民政府交通部の管下でありとして、反臨時政府的態度を固持して居つたが、此の程漸く、中央電話局の接收に應ずる事となり近く接收する見込で全天津の電話は之を以つて一元化せられる事となつた。

現在内地から北支に對する送金は我が國の替爲管理の結果著しい制限を受けて居るが、内地に對する送金は各地の郵政局で國際替爲(日支爲替)の取扱が盛んに利用せられて居る。此の他正金、鮮銀の兩銀行の取扱は従前通り行はれて居り野戰郵便局のある所では現金送金を便宜取扱つて呉れてゐる。

(七)教育機構の改正

事變前には國民政府の指導下に有つて徹底的な抗

日教育に當つて居た各大小の教育機關も曩に治安維持會の斷乎とした方針變更に従つて往來の誤認を正したが臨時政府の成立と同時に新たに教育部を設け、防共聯日の指針を確立して宣言すると共に新教科書を採用する等、銳意教育機構の改組を行つて居る。

北京では新たに官吏養成機關である新民學院と外國語學校が開校された外、一時閉鎖中の北京大學も理醫工農等の實學の綜合大學として復活、元の國立師範大學は師範學院、女子學院として更正し、其の他の大學及び之に附屬する圖書館も續々再開されて居るが、只天津の南海大學、北京の國立清華、同河北、東北等舊黨と縁を脱し得ぬものは閉校又は開校不能に立ち到るのではないかと見られる。

中小學校は北京を初め各地共續々と開校し又山東省では豫算四十萬圓を以つて、中等學校十三校の復活計畫が實行されて居る、此處で特筆すべき問題は燕京大學(米國系)を初め各外國系の大學は、その自由主義の立場から本年三月教育部が外國の諸大學と

雖も新政權の教育方針に反せぬ教育を行ふ場合に限り其の教育經營を認める旨の一般的通告を行つたにも不拘尙その特種的な位置を利用し宛も蔣政權系の抗日學生の温床の様な觀を呈して居り、殊に過般新民會が剿共滅黨の目的で之等の大學及び附屬圖書館内の抗日並共產黨系の文献の封鎖撤收を要求した際之を拒絶したのをきっかけとして新政府の教育權を繞つて、外國經營當局との間に深刻な抗爭が續けられて居つたが、最近、大學當局側は翻然として訓育上の積弊を改め進んで政府の教育方針に協力する事を申出で、尙文献整理に對しても全幅的に其の趣旨を支持する事を承認するに至つて、此處に初めて政府の教育方針の統一が完成せられたのである。

(八)産業開發の諸問題

北支の資源を開發する事は我が國策の重要な一項目で既に新聞紙にも北支開發會社の成立やその内容が掲載されて居るので衆知の事であるが現地に於いて開發に關する最高方針を審議決定する機關として日華經濟協議會と蒙疆の聯合委員會とがある、日華

經濟協議會は本年三月寺内最高指揮官と臨時政府の行政委員長王克敏との間の調印によつて成立されたもので、會長は王克敏副會長は軍顧問の平生飢三郎で此の外日支各五名の委員を以つて成立し、交通通信を除いた、北支産業資源開發と日支關係經濟關係の企劃決定を目的とするもので既にその第一回協議會を六月二十九日に開催し爾後引續き開かれて居る現在迄の決定事項は、(一)農業改善棉花其他農業資源の増産(二)治水港灣修築金融改善鑛業資源の開發、(三)自由企業の統制(四)産業關係法規の設定改廢等で、此の外新たに金融工鑛農業貿易の各部を設け具體的の解決に當る事となつて居る。

イ、産業開發の根本方針決定

開發に當つて現在迄に決定された根本方針は石炭鐵、電力、石炭液化、鹽、曹達等の重要資源に對しては今度新たに設立された北支開發會社の下に各部門の子會社が出来綜合會社である北支開發會社だけは日本法人であるが子會社は臨時政府が、各事業別の特種事業會社法を制定し中國法人として保護統制を

受ける事となつて居る。更に是等の統制的な企業を除いた所謂自由企業に屬するものに對しても極力之を指導し圓滿な發展を期すべきであるとし、日華經濟協議會では左の様な根本方針を決定した、即ち之によると、(一)日滿支の經濟的摩擦を極力防止する事、(二)北支に對する自由企業の進出は我國にとつて資本の二重投資となるので之を抑制する事(三)北支で行ふ企業は日支合辦による中國法人組織を原則とし極力中國側資本と經營者を参加せしむる事などである。

ロ、産業開發の着手狀況

現地では既に前に述べた方針による開發に着手する前提として、着々準備が進められ居るが現在迄の模様を云へば

棉花については既に現地側に於て棉花の急速な計畫的改良及増殖を圖り日滿支の棉花需用に應ずると共に北支農民の復興に資する爲日華經濟協議會では最近九ヶ年計畫を樹て、現在の棉花年産三百萬ピクルから約一千萬ピクルの増殖を實行する事となつた

事變前には棉花の指導獎勵機關は河北省棉花改進會が唯一のものであつたが之を改組して將來の北支棉改善を行はしむる事となり北寧鐵路局の經營する通州棉花試驗場と昌黃試驗場は滿鐵の指導の下に側面から之を援助する事となり、其他外務省管轄の華北産業科學研究所では近く北京の郊外に大規模な中央農事試驗場を目論むなど積極的に乗り出して來た、拓務省が今春朝鮮總督府と朝鮮各種棉業者を動員して北支軍當局に寄附した改良棉實は既に冀東濟南石家莊太原等の各地に配布済となつて居る。

自由企業中最も重要な紡績工業は既に事變前から日本の進出が特に著しかつたが今やその復舊は着々として進行し之と同時に特に軍から委任を受けて經營に着手したものを合せると現在の總錘約四〇萬錠に達して居る。

事變後に顯れた、著しい特色は從來之等の工場は多く青島天津の地方に集中されて居たのに對し濟南石家莊等の棉花集散地である奥地に進出し始めた事で

石家莊の大興紡紗廠(鐘紡)濟南の仁豐紡績(同)成通工場魯豐工場(東洋紡)等は現在素晴らしい成績を擧げて居る。

鐵鑛の採掘は目下龍煙鐵鑛(埋藏量八五〇〇萬噸)は日鐵の手に、金嶺鎮(一、〇〇〇萬噸)は興中公司の手に稼業中であり、製鐵所は石景山(年重額八萬噸)が今秋日鐵によつて着手の豫定であり、山西の保晉鐵廠(年産額六千噸)は興中、陽泉(四萬八千噸)太原(同)晉北(同)各製鐵廠は何れも大倉工業が委任經營を行つて居る。

石炭鑛の採掘は大同炭田(埋藏量十六億噸)に屬する晉北、保晉、煤鑛が滿鐵の手に、井徑二億二千萬噸)陽泉(一億二千萬噸)六河溝(三億噸)華實(二億噸)が何れも興中の手に稼業中である。

又製粉は太原の電燈廠製粉工場を初め山西、京漢線沿線の各製粉工場は日本製粉、濟南の成豐、豐年青島の中豐、双峽等が日本製粉、濟南、成記、北京の惟一工場が日清製粉の手に委任操作に當つて居る。最後にセメント工業について言ふと、太原の西北

實業公司、洋灰廠は淺野、濟南の致敬洋灰は小野田セメントが地域統制主義を以つて現在經營を行つて居る。

(九)金融機關と通貨の統一

北支の金融機關を擧げると銀行、銀號、質屋、貯蓄會信託會、保險會社及び外國銀行等でその中銀行と銀號が最も主なるものである。

事變發生當時の銀行は中央中國交通等の國民政府系のもの、河北省、山西省、冀東等の各官立銀行を初めとし市營、民營等を併せると北支にある本支店の合計は實に二百數十に達し、廣く金融に當つて居り、又銀號は銀行から資金融通を受け、中小商業者に對する欠くべからざる金融機關である。

さて銀行の中で北支に本店を持つものが一七に對し、南方殊に上海を中心とした地點に本店を持つものが二〇もあり、その資力關係等からみると、斷然南方系資本が多く、従つて北支の金融は全く南方勢力に支配されて居たのである。

次に北支に流通する通貨を大別すると(一)紙幣

には青島票と云つた具合に多種多様を極め之が又地方軍閥と組んで時々その方針を變へた爲何時の間に於全然無價值となる場合もあつた、一九三六年に國民政府が幣制改革を行つて、中央中國交通の三銀行の發行券を通貨と指定したものの北支では此の新たに現れた中央銀行券の使用を喜ばず依然として、各銀行券が發行流通されて居る状態であつた、こうして最近迄に一體どれだけの紙幣が流通して居たかと云ふに、昨年十月現在で河北省及平津地方で約二億六七千萬元、山東六・七千萬元、山西三千萬元、合計三億四・五千萬元に上つて居りその内中央銀行券は總額の約一割にも達せぬ有様であつた。此等の紙幣發行銀行の大部分が南方資本系統の銀行である事は前にも述べた通りである。

ところが今度の事變によつて北支の政治勢情が一變し、既に臨時政府が成立し又蒙疆では三つの自治政府が出来たに不拘北支の金融關係は依然として南方系資本に支配されて居る爲國民政府の指示による預金引出制限が北支でも實行されたり、又國民政府

(二)國民政府の幣制による補助貨幣である白銅貨及び銅貨、(三)舊式貨幣である銅貨の三種で此の中舊式銅貨は俗に「トンヅル」と謂はれ元各省で鑄造利益を目的として濫造したものや奸商が私鑄したものなどかあつて概して惡質且つ多種多様になつて居るが實によく普及し特に下層階級には欠くべからざる通貨になつて居る。國民政府は幣制改革の際之が整理を目論み補助貨として白銅貨と銅貨とを出した白銅貨は二十分、十分、五分の三種、銅貨は一分、半分の二種で一分は一元の百分の一であるから現在我が國の一錢に當つて居る。然し乍らこれは下層階級の通貨としては少し價値が高すぎると云ふ嫌ひがあり又その數量も多くなかつたので「トンヅル」は依然として廣く使はれて居る。現在では四十六枚で十錢となつて居る。

又紙幣になると之は從來色々な銀行が特許を受けて自分の銀行券を發行しその銀行の支店が又發行準備を保有して發行して居つたため實にその種類が多く平津地方では所謂平津票、山東には山東票、青島

の貨幣價値が下落すると苦しまされに色々と北支經濟の攪亂を企てるなど、どうしても此處に斷乎南方と手を切り經濟的の獨立と金融一元化を圖る必要が起つたわけで中國聯合準備銀行と蒙疆銀行が成立したのは實に此の理由に基くものと見られる。

中央聯合準備銀行は本年二月六日公布の同銀行條例に基いて成立した公稱資本五千萬元拂込資本二千五百萬圓の銀行でその半額を臨時政府で残りの半額を中國、交通、河北省、金城、鹽業、中南、大陸、冀東等の有力銀行から拂込みを終り別に日本銀行團から一億圓のクレジットを受けて居る。

此の銀行の成立により、將來その發行する銀行券だけを新國幣とする事が決定し同時に圓元パーの制度が確立された。従つて現在流通して居る紙幣は整理する必要があるので臨時政府は同時に舊通貨整理法を公布して、(一)天津、青島、山東等の銘記のある中國交通券及び河北省、冀東の各銀行券は滿一年後(二)中央銀行及び(三)の銘記地以外の中國交通銀行券其の他の銀行券は三ヶ月後に其れ／＼流通を

禁止する事になり、既に三ヶ月を經過した六月十一日からは(二)に屬する銀行券の流通禁止を斷行した更に通貨政策強化の第二段として採用されたものが未だに南方勢力の覇權から完全に離脱出來ぬ中國、交通の二銀行の北方券と、河北冀東兩銀行の發行を除く小額紙幣及補助貨幣の一割切下げ方針で既に八月八日から實施され見事に成功して居る。

右に對する例外として元山西で閻錫山が造つた各銀行及び山東の民生銀行券に對しては其の及ばず影響が特に著しい爲別に方法を講ずる事になつて居る蒙疆では昨年十一月二十三日には察南綏遠平市官錢局農業銀行等を合併吸收した蒙疆銀行が成立して同じく圓元バーの確立紙幣發行權の獨占が行はれたので現在は北支に流通する紙幣は著しく整理され更に來年三月以後は平津間に僅かの外國銀行券が流通される外國聯合銀行券と蒙疆銀行券だけが流通する事となるわけである。尙元未滿の小額紙幣及補助貨幣の統一については六月一日からその整理法が實施せられて居るから之亦近い將來に解決される事とな

らう。

此の様に土地の有力銀行を出資銀行としたり又は合併した兩銀行は現在極めて順調な経路を辿り中國聯合銀行の如きは成立後日が浅いのに天津、石家莊、青島、濟南等を初め、各所に支店が新設され現在でも各地からその増設を要求して居る有様でその既に發行された銀行券も數千萬圓に上つて居るから北支の金融一元化と、通貨整理は必ず豫期以上の結果が得られるものと見られて居る。

最後に外國銀行券について少し述べてみると、御承知の通り北支の外國銀行では自由發行制をとつて居り現在は我が正金の外四行が發行して居るけれどもその額は極めて少くて僅か總額一四〇萬元に過ぎずその流通範圍も極めて狭いのであるが今回の事變に當つて朝鮮銀行券が我が軍の使用通貨となつた爲朝鮮銀行券は現在北支一帯に流通しその額も四五千萬圓に達して居る模様である。然し我が政府では目下之の回收に當つて居るから將來の流通は漸時縮少される事とならう。

(一〇)北支の貿易

事變の後を受けた農村の購買力の減退、運輸機關特に鐵道貨車の不足、金融梗塞等の悲觀的材料により相當不振を憂慮されて居た北支の貿易關係は此の豫想を全く裏切り今春以來輸出入共著しく活況を呈して來た。

天津の五月中に於ける對外貿易は輸入總額實に一、八八四、三八三(金單位)に上り、前月に比べて約三割強、昨年同期の約十割を増加するに至り、又輸出總額一八、一〇二、九〇八(元)で四月に比し一割強前年同期に比し三割弱の各増加を示して居る。此の事實は實に天津港にあつては記録的な躍進數字で奥地治安や交通網の急速な復舊と殊に輸入品目中特に建設用材の著しい増加は愈々北支が産業開發の緒についた事を雄辯に物語るものであり同時に新通貨に對する暗疑を全く解消するに足るものである。對日貿易關係は北支が本來日本の製品市場たると同時に、日本への生産原料供給の依存關係が極めて密接な上新幣制度による圓元對價、關稅率引下げ等

によつて特に優位の立場に置かれる事となつたわけであるが一方我が國は現在非常時經濟體制の下で替爲管理と貿易統制を行ひ、従つて北支からの原料輸入が制限され、又生産不足乃至コスト高を來して居る等の原因が、新政府通貨の對外關係に關聯しその成績は充分満足すべき状態には到達して居らない。然し乍ら之は全く過渡期的な現象に基くものであるから此の原因が排除されると同時に日支貿易は驚くべき飛躍をなすことは蓋し豫想に難くない。

次に注目すべき問題は右に述べた様に日支間の貿易は色々な事情によつて一時的に停頓の状態を寧ろ北支貿易の重點は第三國に對する輸出の旺盛と云ふ點に集中されて居るのであるが、之は複雑な經濟的事實によつて受ける結果で日滿支經濟提携に對しては必ずしも喜ぶべき現象でないで此處に臨時政府で貿易管理を行ふ必要が早くから痛感されて居つたが臨時政府は遂に七月一日から牛羊皮革類の輸出禁止を斷行するに至り、又近く棉花に對しても同一の

主として北支の新國幣から起る特種的な事情に對する暫定的な處置であるから間もなく解決されるもの

と見られる。

北支に於ける日本人の進出狀況

北支の在留邦人や各方面の邦人會社は事變勃發後急速に治安の回復した北部の地方を除き青島濟南を初めとし會社を閉鎖して内地へ引揚げを行つた所が多かつたが其の後戰果の擴大と共に皇軍によつて確保された地域の治安も著しく回復し新政府の基礎も全く強固となり産業開發方針も確立したと云ふ風に今後の見通しがついたので引揚邦人會社歸還を初め大陸の新天地を目指して進出する者が激増しこれと同時に政府を初め各方面の現地機關の擴充強化が必要となつて來たので着々と之に對する準備が行はれ北支一帯の邦人進出は著しい活況を呈して居る。

北支に進出する邦人保護とその取締りの爲大使館では經濟部警務部の新設が行はれ又激増する邦人子弟の教育機關とその教育方針を確定する爲教育課の設置が研究されて居る領事館も既に舊復されたもの

外新設又は特に擴張強化され現在開設執務して居るものは總領事館五(天津、北京、張家口、濟南、青島)領事館二(芝罘、石家莊)領事分館三(山海關、唐山、包頭)全出張所六(塘沽、大同、原和、張店、博山、坊子)で此の外現在閉鎖中のものに太原出張所がある。右の中北京總領事館は時の變化に應じ新設せられ、張家口は元領事館であつたものが昇格した。尙今回新たに張家口、包頭、厚和では通商事務を開始する事になつた。

民團民會等も邦人増加と共に漸次復活又は新設せられ青島濟南の民團も既に開設せられた民會は現在北京を初め多くの地方に設置されて居るが北京居留民會は近く民團となる豫定である。

邦人進出と同時に焦眉の急となる問題は之等子弟の教育で事變前は天津北京を初め領事館區域内に一

乃至二の小學校があつたが最近の急激な邦人増加の爲到底之に應じ得ず既に二校を有して居る天津には近く第三校が新設される事になり北京では現在小學校一の外分校として半島人小學校があるが北京の學齡兒童は本年三月僅か三百人足らずであつたのが現在では約三倍に上り總領事館では初め一千人收容計畫を樹てたが間に合はず更に千二百人(三十四教室)案に變更し新しく一校増設する事に決定したが九月の學期開始頃にはその數千五百人の増加が豫想され更に來年度には第三校の新設を行つて之の緩和を圖らうとして居る 又天津に中等學校は高等女學校一、南業學校一は既に存在するが北京でも來年度に高等女學校の實現を見る事となり男子中等學校設立の案も進行中である。

今後邦人の進出に伴つて愈重要を加へるのは金融機關であるが現在北支に進出して居る我が銀行は正金の外三行でその營業個所は左の通りである。

行名	本店	支店
正金銀行	橫濱	天津、北京、青島

朝鮮銀行	京城	天津、青島、北京、天津銀行
天津銀行	天津	天津、北京
濟南銀行	濟南	天津

右の中北支で銀行券を發行して居るのは獨り正金のみで其の發行高は昨年五月現在四十萬元であつたが本年三月末には七十萬元に上つて居る。朝鮮銀行券は事變前は青島に於て専ら流通するに限られて居たが今次事變で軍使用通貨となるに及び現在流通は北支一圓に亘つて居る、當局では最近金融機關統制の建前から一、將來右の外内地銀行の進出を認めず二、鮮銀によつて天津濟南の兩地元銀行を買収する事に決定した模様である。

北支で生産企業に従事する會社は既に事變前から夥しく多數に上つて居り主に天津青島を中心として紡績工業を初めとし、各種の生産を營んで居た。その概数を挙げると紡績工場九、紡織工場八、毛織工場一、機寸工場七、ゴム工場八、染料及塗料工場四、石鹼工場二、皮革工場一、硝子製造工場一、機械器具工場四、金屬製品工場三、製粉工場一、麥酒工場

一、鶏卵加工場一、食料品工場三、骨粉工場五、製材及木製品工場四、電力事業四に及び、是等の外事變後新設されたもの、目下建設中のもの開發會社關係のもの、及買収接洽並委任經營中の支那側鑛工業を加へるとその數は一層多く、著しい盛況を示して居る。尙商業及資本投下會社も既存のもの外漸次増加して居る。

北支の主要都市は邦人進出によつて驚くほどの活況を呈し一番困るのは家屋の拂底で家賃はどん／＼高くなり、都市計畫は初めなければならぬし此のあたり轉手古舞の形である。

北 京

事變勃發當時宋哲元を撤退せしめ殆んど戰禍を受けずに昔乍ららの優麗を維持する事が出来た北京は今や臨時政府の首都となり、皇軍の指導と新政府の施政共に業績大いに舉り嘗ての北支抗日の策源地は忽ちにして親日防共の都に急轉回し、今や北支建設政治、經濟の中心地となつて居る。従つて、北京を自指して集る邦人の數は一ヶ月二千名を突破し事變

當時大使館に避難收容されたもの三千名（中半島人千五百名）に比べると實に七倍の二萬人を遙かに超え本年中には三萬人に達するのではないかと見られて居る。市内には滿鐵北支事務局を初め、各種の官公私の機關が駐在し、北京廣播電臺の新設されたのを初め水道電氣の改良計畫都市計畫等も着々進行し市内は日一日と日本色が濃くなり既に日本料理店喫茶店旅館等の進出夥しくその數百數十軒を數へて居る。

天 津

北支の門戸として北支産業開發の進行と共に著しく日本との緊密さを加へんとして居る天津は事變前の邦人數一万二千六百人（半半島人二百人）が現在では倍加して二万四千百人（内半島人四千人）となり商社事務所を初め旅館料理店の數が激増し小學兒童數も約五割方増して居る。事變前からある邦人の各種工場も漸く落付きを見せその計畫を擴張し増設中のもの多く、支那側工場で我が資本系に接收されるものも相當數に上るものと見られる。

關稅率改正は資源開發と共に天津の對日貿易を飛

躍的に發展させる事は疑もない所で今後之を自指す邦人商社の急激な増加が豫想される。

濟 南

昨年八月總領事を初めとして居留民全部が涙を呑んで引揚げた後暴逆支那軍の爲に破壊掠奪を受けた濟南も皇軍入城と共に次第に邦人の復歸が初まり現在の在留民數は既に事變前の二倍に上る二千七百人（内半島人千五百人）に達し、本年中には少くとも一萬近くになる見込で復興の音が高く鳴り響いて居る。最近新たに進出した邦人企業は東洋紡績、豊田紡績棉花プレス、弊城セメント、東京商工獎勵館出張所、ジャパンツーリストビュロー、等多數を算し、文化方面では軍官撫班による日語學校が新設され生徒數實に二千五百名に及び、都市計畫案も既に決定された。南北支那を結ぶ津浦線、本邦經濟力注入の膠濟線の交叉點で政治經濟上からみても邦人發展の據點として今後の繁榮は蓋し驚くべきものがある。

青 島

天津と共に北支六港中の白眉と云はれる青島は、歐州大戰による我が軍の山東攻畧から引き續き邦人の營々たる建設工作により紡績工場を初め多くの邦人經營會社があり在留民一萬三千を算へて居たが事變勃發により邦人の一齊引揚後之等の施設は殆んど全部に互り爆破、掠奪せられたが皇軍の入と共に市内は忽ち復興の色が溢れ、引揚邦人の歸還と新來者とを合せ現在ではその數事變前の二倍を遙かに突破し而も益々増加の傾向を示して居る。

工場の復舊新設も着々と進行し、殊に來るべき日支貿易の發展に具へて、商社の數も激増して居る。市内には之等の工場、商社を初めとし内地各所から貿易關係商工關係の機關が新設されて居る。紡績關係を初めとする邦人の事變による損害は莫大な額に上つて居るが政府から之に對し復興資金を貸付けるとなつたので、引揚邦人の復舊氣分に一層拍車がかけて居る。

石 家 莊

事變前の石家莊は在留邦人皆無であつたが事變後

紡績を初め邦人企業の進出と同時に驚くべき発展を示し現在では實に二千名を突破して居る實狀である
進出邦人を營業別にみると料理店四五、カフェー三〇、雜貨商三八、旅館四〇、寫眞屋一九、土木業二〇、菓子商一二、理髮業四其の他五四となつて居る、近く小學校も新設される事になつて居り市内は躍進的に日本化されて居る。

通州

元冀東政府の所在地であり又今次事變の當初保安隊の邦人虐殺事件の發生で今尙記憶の新たな通州も其の後治安が急速に回復し京通鐵道や自動車道路によつて北京との交通も頻繁となり新に軍官學校や青年訓練所を初め農村子弟教育機關も漸次完備し殊に地方農産物の集散地として其の將來の發展が約束されて居る爲最近では日本人の進出が特に目立ち今では四百名を超え引續き續々増加の見込である。

張家口

京包線の中でも張家口の市街は察南自治政府の所在地でありまた蒙疆聯合委員會のある所だけに日本

の政治軍事經濟の機關も殆んど此處に現地機關を置いて居る蒙疆物資の集産地である此の地に經濟的發展を求めて集る邦人の數は事變前の四百人足らずに比べると現在では實に七倍に上る二千八百人を超へてしまつた居留民會でも此の狀勢に遽かに内容充實の必要が叫ばれその結果新たに地域別による區長制度を實施するに至つた近く都市計畫も實施され邦人子弟の小學校建設も着々行はれて居る

包頭

京包線の終點包頭は蒙疆奧地物資の集積地と共に黄河上流の取引中心地で將來は驚くべき發展を豫約されて居留る邦人の進出僅々三ヶ月以内に既に百名に上り居留民會と小學校の新設が急がれて居る鑛紡の洗毛工場や大阪資本による百萬圓のフェルト類似工場其の他羊毛を中心とする諸工場が續々と設立をみんとして居り工業都市としての包頭の將來は洋々たる希望に満ちて居る。

我が國現地機關で現に包頭にあるものは軍關係を初め領事館分館滿鐵事務所電政會社羊毛同業會蒙疆

汽車公司日本人會等があり又商賣を營なむ者を區別すると料理屋五宿屋三雜貨屋二カフェー五土業業二菓子商二時計業一新聞取次業一になつて居る
市公署では目下都市計畫の準備工作を進めて居り

支那を掘下げて知れ

社會 狀態

支那の社會には種々の特質があるその一つは支那の社會には著しく自治が發達してゐることである。永い間の無政府的混亂期から人民は自然的に自治自衛をもつて共同の利益を擁護すると云ふやうになつたものと解して誤りない。

その二は秘密結社の發達である。支那には昔から秘密結社が發達したがこれは支那人の性格が秘密保持に適してゐることに重大原因があるだらうこの秘密結合の組織に慣れてゐることが、中國共產黨があれだけの發達を遂げた所以である。

支那社會の結合基礎をなすものは血縁と地縁と利益團體である。血縁關係は經濟、政治の各方面に及

又植林による都市美的構成を考へて居る模様である
又現在では土地賣買を禁止し工場の設定區域を定め
るなど著しく近代化されんとして居る

び、商店や手工業等には、血縁の者が多く集まり、會社でも血縁者を集める、各郷上の團結が鞏固なだけでなく、各地方に於ても郷土的に團結し各商店や工場も血縁か同郷人で固まつてゐるし、同業組合の如きも同郷的色彩が強い。政治方面で同郷觀念は特に強く、利益團體や商會や同業組合の如きも、利害による團結の力はかなり大きい。これ等の組合が大きな自治力を發揮してゐる。

人情 風俗

支那の民族性は一口にいふと生活に即した幸福を求めんとする心性から發足してゐるもので、國家中心の國民性といふ色彩は見出せない。どこまでも民族的であり、社會的であり、同族的であり、同

郷的である。集團生活に馴れ、よく周囲と調和して相互扶助の實を擧げるやうに努めてゐる。支那民族性の特色とするところはこれを國民として取扱はれるときには幾多の微弱なる缺點を見出すことになるところが國家でなく集團的な自治生活をなせるものであると見るときには美點長所をまた持合せてゐることを見出すのである。別段國家を否認し、政府を無視し、法律を無價値視してゐるわけではないが、しかしそのいづれをも重く見てはゐない。始めから國家や政府にすがらうといふ氣持さへ毛頭持つてゐないやうである。こゝに支那民族性の生れ出てゐることは最も留意すべきである。

(一)享樂性 日常生活は簡素だけに反面に歡樂を求めんとするところがあり、また無邪氣に高吟をしたり、拳を打つたり、胡弓を奏したり、エロダロの話柄を持ちたして抱腹絶倒の場面を作るを以て最大住境としてゐる。動もすれば酒池肉林の贅を盡し、家庭に第二、第三夫人をおき、學生あたりの修學時代にあるものでもかなりその享樂氣分に浸れるものが多い。

(二)執拗性 そのどこまでも我慢強く獨力獨行で成功するところまで十年一日の如く爲し續けて行くところは、職業の上に、集團の上にもまた社交の上に、日本人の目からは特に珍しく眺めらるゝものがある。天津、山東の農夫が一、二圓の船賃も儉約して渤海を山海關から牛莊、大石橋へと滿洲さして大袋を肩に毎日炎天の野道を行くあの根氣のよいところは、一つは食物の加減、二つには體力の點もあらうが、永年傳統の力によれることである。

(三)社交性 文字のある、文雅の士はいふまでもなく、目に一丁宇なきものにしても人に對する愛想、言葉づかひ、下にもおかぬ慰懣振り話題に富み、話がかまことに巧みで、喜怒哀樂の情を巧みに表現し、時の移るを感じしめない。始めから終りまで無駄話しの如くであるが、その間いつしが要點だけはちやんと掴んでゐる。

(四)貯蓄性 人間生活の要は貯蓄にあるとは支那民族性の中樞をなせるものといひ得やう。銀行が當にならず、世相の不安な支那にあつては、自分自分が

それぞれ秘密の方法により或は家庭内の穴倉、地下窖に、また山下老樹の下に壺甕を埋め、これに銀貨大洋を秘藏しておくものもあり、紙幣を見判けるのにたいした氣をくばる。而してその富める目的の主なるものは富豪になること、衣食住にまた肉慾心を満足せしむること、不老長壽の域に生き延びること、冠婚葬祭を盛大にせんこと等これである。

(五)宣傳性 日本人は永年に亘る排日によつて苦い體驗をなめさせられてゐるが、彼等の宣傳はうまいものである。自國內に於ける對内策に又外交舞台に其の試みる宣傳は武器を携げての實彈戦よりも上手である。これも幾千年の永い歴史を有してゐる民族性中最も顯著な特性の一つである。

(六)大陸的悠久性 支那南北の山川風土がその民族的背景としてどんなに大事なるものであるかはいふまでもない。その偉大なる湘江を採入れ、あの無邊の曠野を我が天地として高樓萬里の心を遊ばしめてゐるとき、いつしか大陸的の悠久な心持にもなるであらう。支那の思想、文學、社會、歴史、あらゆるもの

がこの大陸生活の特異性から生れ出てゐることもいふときは、この大陸は支那民族性の母であると思へる。大陸の生命は悠久であり、急がず騒がず悠長な感じのあるのは、たしかにこの大自然の感化であるであらう。

(七)簡素枯蒼な特異性 一面に歡樂を喜び形式的なところがあるかと思ふと、他面には全く禪味たつぷりな風流味を見る。寒山拾得の如き生活を敢へてして少しも不足と感ぜず、洒々落々でゐられる性質がある。これは恐らく反動的の現れでもあらうが、一つには大陸生活から來る賜で何事も簡單茶碗一つ持たなくとも、三度三度飯店に出かけるなら生きるに事欠かぬといつた世相に出來てゐる支那のことゝして無理もない。

(八)極端性 支那は世相の複雑多様であるため善事をなして少しも鼻にかけず、陰徳を施しても口外しないといつた大きい心持がある同時にその反對の非行。殘忍、酷薄の行爲も極端である。

(九)面子をひどく重んずる特異性 支那の人は金の

ためにはすべてを犠牲にすると評せられてゐるが、その顔をつぶされ、面子を臺なしにされる位大騒ぐることはない。この點は吾々が支那を知る上に心すべき點で支那民族の立場に常に同情を表し、尊重の氣分を失はぬやう心すべき實際問題がまた残されてゐる。

(一〇) 尙古思想の強烈 國が古いだけに古代にあやからんとする考へが強い、歴史を尊び、古記録、古蹟を重んぜんとする傾向を持つてゐる、舊來の慣習古物に引かされ、いくら欠點があらうとそれを依然陥襲せんとするところがある。

(終)

附 録

昭和十三年九月

華北事情案内所の組織と事業内容の説明

華北事情案内所の組織と事業内容の簡明

昭和十三年六月

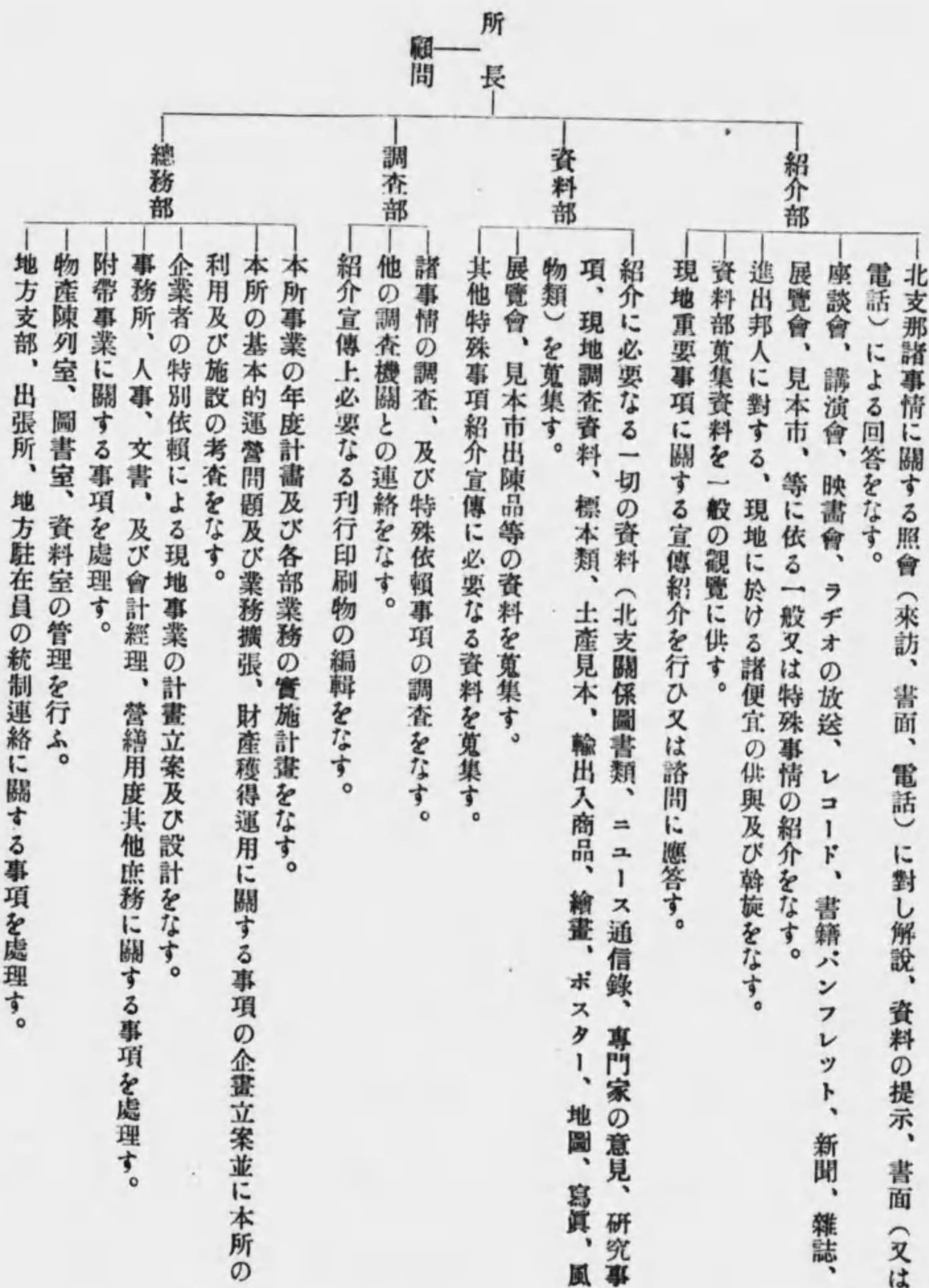
綱要

華北事情案内所の組織と事業内容の説明



華北事情案内所の組織と事業内容の説明

- 一、本所は中華民國領土内の主として北支那に於ける經濟産業貿易及び一般事情の紹介を爲し、公益機關として本所利用者に對し無料にて諸便宜を供與する任に當るを以て目的とする。
- 二、本所の事業資金は本所の目的に提供せられたる指導及び後援者よりの補助金及び寄附金並に本所の財産及び附帶事業より生ずる收入を以て之れに充てる。
- 三、本所に所長及び顧問並に所員を置く。
- 四、本所の事業内容及び所務分掌系統を表示すれば次の通りである。



華北事情案内所の脈絡と事業内容の述懐

一、本所は中華北支の脈絡を明らかにし、北支の現状を語る。...

二、本所の事業内容は、北支の脈絡を明らかにし、北支の現状を語る。...

三、本所の事業内容は、北支の脈絡を明らかにし、北支の現状を語る。...

昭和十三年八月二十五日印刷
昭和十三年九月一日發行

「北支の現状を語る」

華北事情案内所

小倉久

編輯人

北京東城官帽胡同一四號

風間阜

印刷人

北京東城官帽胡同一四號

北京新聞社印刷部

印刷所

華北事情案内所

發行所

北京王府井大街金城大樓
電話東局三一九一番

387
2
458

民國十三年八月二十五日

總計
人

...

小
會
大

...

...

...

...

終